

松崎 議会だより

No.144
令和6年7月25日

「石部の棚田アート」

《主な内容》

第2回定例会 (6月4日～6月6日)

令和6年度補正予算 他	2
令和5年度企業会計決算	3
議会会町内視察	5
町政を問う 一般質問に6議員	6



議会だより、定例会一般質問動画は松崎会町議会ホームページでも視聴可能です。



松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

令和6年第2回定例会

令和6年第2回定例会が、6月4日から6日までの3日間で開催されました。
本定例会では、令和6年度補正予算案など13議案について審議を行い可決・認定しました。

一般会計補正予算

補正予算(第2号)は、歳入歳出にそれぞれ90万9千4百6千円増額し、補正後の額を45億8千155万9千円とするもの。

歳入では、国庫補助金、助成金、財政調整基金からの繰入金を増額し、定

額減税実施に伴い町民税で減額をした。

歳出では、価格高騰重点支援給付金事業(定額減税調整給付金など4事業)、新型コロナワクチン接種関連費、児童手当制度改正に伴うシステム改修費業務委託の増額や児童館費を減額した。

問 新型コロナウイルス接種費の算定根拠と前回の接種率はどのくらいとなっているか。

答 健康福祉課長 65歳以上と60〜64歳の一部の方で1850人分の費用を見込んでいます。町独自で接種率は公表していませんが、県全体の22・71%には近い率となっている。

問 児童館費は正規職員から会計年度任用職員への変更で減額されたが、放課後児童クラブなどの運営はどうなったか。館長の役割は誰が担うのか。

答 健康福祉課長 放課後児童クラブは午後6時30分まで変わらず継続している。館長の役割はこれまで同様、健康福祉課長が担う。

国保会計補正予算

補正予算(第1号)は、歳入歳出にそれぞれ176万円増額し、補正後の額を9億5607万8千円とするもの。マイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴うシステム改修のための補正。

問 マイナンバーカードは全ての方が持っており、保険証にも連携していないと思うが、その原因や対策は。また、移行しない場合の対応は。

答 健康福祉課長 国保被保険者1743人中、1273人(73%)がマイナ保険証登録しており、利用率は6・87%となっている。

マイナ保険証を利用すれば、高額療養費の限度額認定手続きが簡素化できるなどメリットを伝えていきたい。マイナ保険証のない方は資格確認書を交付していく。

条例

◎松崎町国民健康保険税条例の改正

地方税法施行令の一部が改正されたことに伴い、松崎町国民健康保険税条例の後期分の賦課限度額を、国の法定限度額に合わせ、2万円増の24万円に改正するもの。

令和6年度分から適用する。

規約

◎静岡県後期高齢者医療

広域連合規約の変更

令和6年12月2日に、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律が施行され、現行の被保険者証が発行されなくなることに伴う変更。

令和5年度企業会計決算

決算の概要は、広報まつざき7月号をご覧ください。

水道事業

給水戸数は、3437戸(前年度比11戸減)、年間総有収水量は75万7836立方メートル(前年度比3129立方メートル増)となった。

収益的収支の総費用1億3906万6千円、総収益は1億7041万2千円となった。資本的収支については、総支出は9321万3千円となつ

た。料金水準の妥当性を示す料金回収率は94・2%で、事業に必要な費用を給水収益で賄えていない状況となっている。また、流動比率は120%だが一般会計からの繰入がない場合は危険水準に近づいており、料金の値上げが必要な状況になっている。

問 貸倒損失があるが、内容とどのような対策をとってきたのか。

答 生活環境課長 水道料過年度分を欠損したものの。納期限内に納付のない場合、督促、催告書、給水停止予告、給水停止などの対策をとっていく。

温泉事業

契約給湯戸数は自家用314戸、営業用29戸、契約供給量は自家用で1口の権利放棄があったため、2105秒毎分となっている。

収益的収支は、権利放

棄や自家用休止の増により供給収益が減少し、総収益は5711万4千円、総費用は6022万6千円となり、その結果、差引純損失は311万2千円となった。資本的収支については、総支出は2838万9千円となった。

伊豆まつぎ荘事業

令和5年度の宿泊利用者は1万8802人で前年度比2985人減、宿泊利用率38・1%（前年度比6%減）となった。

総収入は2億8588万2千円、総費用は2億7386万3千円。確定申告誤りの還付金約2631万円の要因もあり、1201万9千円の黒字決算となった。当年度未処理欠損金は2億7573万9千円となった。

問 全国旅行支援の事業がなくなり、令和5年度は代わりにどのような営業活動を実施したか。

答 企画観光課長 7月からは朝食バイキングを再開した。職員への経営改善・資質向上に向けての研修も実施した。秋頃から関東圏へのバイク客や山梨県、県西部などへの営業活動を実施した。

問 振興公社への委託費の明細について、頑張つて業績が上がった時の職員へのメリットは。また一人一人が目標数値などを把握しているか。

答 町長 業績が上がれば、ボーナスへの反映も考えている。最低限のことはやっていく。主任には、年間何人を目標ということは話している。その中でも、閑散期でも集客できるよう目標を立てている。

問 宿泊客数で団体客の実績がゼロとなっている理由は。旅行代理店経由での宿泊はどのようになっているのか。

答 企画観光課長 団体

客は30人以上でカウントしている。まつぎ荘の構造などでは対応が難しい。マイクロバスなどでの小団体は実績がある。以前は旅行代理店へ営業に行っていたが、今は予約が多くなっている旅行サイトのネット予約を強化している。

集落排水事業 特別会計

令和6年度からの地方公営企業法適用のため、法適用の前日をもって令和5年度会計年度を終了させ、決算を行ったもの。

◎岩地集落排水事業

排水施設使用料・基金繰入など歳入は、総額2294万7千円、指定管理料など歳出は、総額920万4千円、歳入歳出差引額は1374万3千円となり、財政調整基金1611万9千円は全て取り崩した。

◎石部集落排水事業

排水施設使用料・基金繰入など歳入は、総額1906万3千円、指定管理料など歳出は、総額828万2千円、歳入歳出差引額は1078万1千円となり、財政調整基金1328万9千円は全て取り崩した。

◎雲見集落排水事業

排水施設使用料・基金繰入など歳入は、総額2800万2千円、指定管理料・公債費など歳出は、総額2346万8千円、歳入歳出差引額は453万4千円となり、財政調整基金1018万9千円は全て取り崩した。

問 施設修繕についてはどのように考えているか。

答 生活環境課長 メンテナンス業者と協議して計画的な修繕や突発的な故障に対応する場合がある。

契 約

◎令和6年度（繰越）パ
カー車売買契約

パ
ッ
カ
ー
車
1
台
を
契
約
金
額
7
8
5
万
円
で
高
橋
自
動
車
工
業
（
株
）
と
売
買
契
約
を
締
結
す
る
も
の
。

意見書採択

◎緊急防災・減災事業債
の制度延長及び制度拡充
を求める意見書

自然災害に対し多くの
自治体がこの事業債を活
用しているが、令和7年
度で終了するので延長を
求めるもの。

◎刑事訴訟法の再審規定
（再審法）の改正を求め
る意見書

冤罪被害者を早期に救
済するため、刑事訴訟法
の再審規定（再審法）を
速やかに改正するよう求
めるもの。

※全会一致で可決し、国
の関係機関へ送付した。

第3回臨時会

5月10日

◎専決処分承認を求め
ることについて（松崎町
税条例の一部を改正する
条例）

個人住民税、固定資産
税などに係る改正。

◎専決処分承認を求め
ることについて（松崎町
国民健康保険税条例の一
部を改正する条例）

減額基準額に係る改正。

◎専決処分承認を求め
ることについて（令和6
年度松崎町一般会計補正
予算（第1号））

静岡県知事選挙、価格
高騰重点支援給付金に係
る補正。

◎令和6年度松崎町学校
給食共同調理場建設工事
請負契約について

調理場（伏倉地内、鉄
骨造平屋建て412・40
平方メートル）建設工事を契約
金額3億1680万円で
河津建設（株）と請負契約
を締結するもの。

第3回臨時会・第2回定例会の賛否状況一覧

議会名	議案番号	件 名	藤井昭一	菜野良枝	高橋良延	田中道源	小林克己	高柳孝博	藤井要	議決状況
第3回臨時会	議案第42号	専決処分の承認を求めることについて（松崎町税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第43号	専決処分の承認を求めることについて（松崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第44号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度松崎町一般会計補正予算（第1号））	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第45号	令和6年度松崎町学校給食共同調理場建設工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第2回定例会	議案第46号	松崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第47号	静岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第48号	令和6年度松崎町一般会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第49号	令和6年度松崎町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第50号	令和5年度松崎町水道事業会計収入支出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第51号	令和5年度松崎町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第52号	令和5年度松崎町温泉事業会計収入支出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第53号	令和5年度松崎町温泉事業会計未処理欠損金の処理について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第54号	令和5年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつざき荘」事業会計収入支出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第55号	令和5年度松崎町岩地集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第56号	令和5年度松崎町石部集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第57号	令和5年度松崎町雲見集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第58号	令和6年度（繰越）パッカード車売買契約について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

賛成：○ 反対：× 欠席：－

工事の効果などをチェック ～議員会町内視察～

6月30日、議員会は、令和5年度に施行された工事箇所の中から9カ所を選定し、現場視察を実施した。

主なものは次のとおり。

◎準用河川太田川河川災害復旧工事 (雲見)

(工事費＝277.8万円)

令和4年8月に発生した台風8号により、大きな被害を受けた太田川の護岸の修復と、洗堀防止のための根固めブロックを設置したものの。

復旧延長は約112㍔と広範囲にわたるが、各箇所ともきれいに修復され、今後の大雨などへの対策が施されていた。

◎町道石部線道路災害復旧工事 (石部)

(工事費＝170.5万円)



崩落した路肩が修復された町道石部線

令和4年の台風8号で崩落した町道石部線の路肩を、アンカー式ブロックで補修し、路面にアスファルト舗装とガードパイプ設置をしたもの。

大雨時の排水対策も施されていたが、もう少し広範囲に施工されるよう対応を検討されたい。

◎松崎町海洋センター落下物緊急除去工事(松崎)

(工事費＝18.6万円)



落下物除去と塗装補修が完了

昨年11月に、海洋センター職員が見回りをした際、プールに鉄の塊が落下しているのに気づいたことから、緊急の鉄筋材除去作業などを行ったものの。

施設内の危険箇所は塗装補修されたが、屋外には錆びている箇所も多く見られたため、今後補修対応が必要と思われる。

◎松崎町立松崎小学校受水槽等更新工事 (宮内)

(工事費＝42.90万円)

老朽化した小学校の受水槽および給水・消火栓設備を含む受水槽施設の更新を行ったもの。

新品となったことで、各設備とも万全の状態であることを確認した。



更新された受水槽施設

◎三聖会堂外壁等補修工事 (大沢)

(工事費＝43.2万円)

経年劣化による施設外部の柱や下見板、巾木の補修を行ったもの。

補修が完了し、施設の景観も改善された。



路面の温度を抑える特殊な舗装が施された駐車場

◎大沢温泉依田之庄駐車場舗装工事 (大沢)

(工事費＝167.5万円)

無舗装であった駐車場約930平方㍔の舗装工事を行ったもの。

舗装に伴い区画線の設置を行い、大幅に駐車しやすくなった。

また、遮熱性舗装が施されたことで、夏場など気温の高い環境でも路面の温度が抑えられるため、施設の快適性の向上も見込めるものであった。

町政を問う

問 地域防災について

答 避難長期化・孤立化対策を



高柳 孝博 議員
たかやなぎ たかひろ



問 能登半島の地震災害では、道路の寸断や断水などインフラの損失や家の倒壊、電気、通信の遮断により多くの被災者が長期にわたる避難生活をせざるを得なくなった。防災計画でこうなっているのではなく反実仮想（もしくだったら・・・だろう）の考え方で防災を考える必要がある。孤立地区の発生で想定している支援が受けられない場合、地域で助け合いをお

願いたいとのことであるが、少子高齢化が進む現状では自助、共助が難しくなる。孤立地域で備蓄が使えない、あるいは不足する事態への対策と避難所以外で長期的な避難の対応をどう考えるか。

答 （町長） 備蓄品は、孤立が想定される地域に自主防災事業補助金を活用した備蓄を進めている。町でも整備していくが、不足する場合は迅速に対応できる

ように県、自衛隊などと連携する。長期化する場合は、2次避難を検討する。



備蓄が不足する孤立地域へ支援物資をどう届けるか

問 不祥事の改善は

答 組織風土改革に取り組む

問 度重なる不祥事に対して議員から申入書が出されたが、私は全員協議会で緊張感をもって原因対策を追求し、情報を共有するよう提言するとともに、一般質問でも職員の働き方について質問してきた。その後どのような改善されたか。職員一人一人の服務規律の確保と倫理意義の向上のための具体的な施策、働きやすい職場環境の整備に向

けて、どのようなことに取り組んでいくのか。

答 （町長）

服務規律の確保と倫理意識の向上のため、行動の見直しをしている。環境の調査・分析と課題解決の取組により労働生産性と職員の意識を高め、組織風土改革に取り組む。メンタルヘルス施策として相談業務を外部委託し、よろず相談窓口の設置やストレスチェックにより、職場の環境整備に努めている。

問 DXの導入について

答 課題の整理を行う

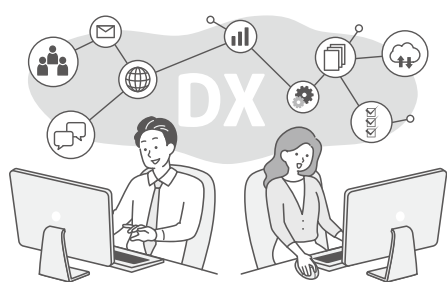
問 DX導入について、省力化、事務処理ミスの業務改善にチャットボットやRPAの活用が有効ではないかと提言してきた。今回、IT技術者の受け入れもあり、DXの導入にどのような新しい取り組みを考えるか。文化財のデジタルアーカイ

ブの検討や「松崎町DX推進計画」の進捗状況と今後の計画は。

答 （町長）

庁舎内のDX化に向けた課題の整理を行い、庁舎内のペーパーレス化、押印の廃止の試験運用、勤怠管理の検討、議会・課長会議のペーパーレス化などに取り組んでいく。DX推進計画は5年後に見直しをする。

【解説】 RPA（ロボット・プロセス・オートメーション）とは、PC上で行う操作をロボットにより自動化する仕組み。総務省では、自治体の生産性向上のため推奨している。



問

少子化に対応した幼保を

答

子どもたちを主役に取り組む



藤井 要 議員



問 松崎幼稚園の新入園

児は3人、総園児数は21人である。聖和保育園は10人余の入園、総園児数は60人で、現況を考えると新たな受け入れは難しいと考える。少子化が進む中、移住定住者の受け入れなどを考えて、町から保育園への先生の派遣や認定こども園を作るなどとは考えられないか。

答 (町長)

職員の貸し借りみたいな話になるかと思うが、

問 松高進学率向上対策は

答 魅力化に向け交流強化

問 松崎高校の進学率は、

松崎・西伊豆両町とも60

非常に難しい。それよりも今は、子どもたちのニーズを調査している。子育て世代、子どもたちを主役にした環境づくりを教育委員会や健康福祉課と連携しながら進めていく。

%を切っている。松高の存続、賀茂地域の教育の充実のために、幼・保・小・中の連携教育を進め、教育のレベルアップや魅力ある高校づくりができないか。

答 (教育長)

昨年度より、町内すべての学校の先生たちをつなげる「先生大集合」に取り組み、町立・県立の垣根を取り払った交流が生まれている。賀茂地区の高校をつなぎサテライト化することで、学習を均一化し、地元の高校に進む生徒が増えることを期待している。

問 不祥事の再発防止対策を

答 公務員の自覚を再確認

問 町長の就任後、職員

による多くの不祥事が発生しており、3月には多数の議員より適正管理に対する「申入書」が提出された。不祥事の発生原因の検証、再発防止に向

けた改善策はできたのか。

答 (町長)

不適切な事務処理などに対し、厳正に対処した結果懲戒処分が増えた。発生は複合的な原因が多く、個人を取り巻く環境の見直しを行い、職員・課・組織で原因を払しょくし、目の行き届いた体制を構築していく。

問 町有施設の管理計画は

答 事業予算を見ながら実施

問 町には雨漏りや水道電気設備の修繕が必要な



町有施設の解体修繕計画は

老朽化した施設が多くあり、災害時の避難、平常時の使用にも支障をきたすと考え、解体・修繕計画はあるのか。

答 (町長)

町の管理施設は、築30年以上経過しているものが4分の3あり、ほとんどの施設で計画的な修繕が行われていない状況。公共施設等総合管理計画などでは、維持管理や解体処分、跡地利用について検討していくこととなっているが、多額の費用が掛かるため、必要な修繕を優先して実施している。

問

地域公共交通事業の費用は

答

令和5年度は約5100万円



田中道源 議員



「乗り合い型」オンデマンド交通の可能性は

問 ワゴン車による「乗り合い型」のオンデマンド交通を進めるつもりはないか。

答（町長）

地域公共交通を全体的に見直しする必要があると感じており、可能性の一つとして検討している。

問 地域の事業者の方々が合同で公共交通事業を運営する考えはどうか。

答（町長）

非常に理想的なものであると考えるが、すぐというわけにはいかず、現状を踏まえながら対応する必要がある。

問 公共交通会議で議題とするつもりはあるか。

答（町長）

可能性を求め話し合うことはやぶさかではない。

問 旧中川小学校の利用は

答 土木事務所移転協議

問 土木事務所の移転はいつ頃、結論が出る予定

なのか。

答（副町長）

協議を行っている県との関係もあり、見通しを明言することはできない。

問 耐震の診断後に利用計画を立てる会議などは行ったのか。

答（町長）

診断が済んだのが去年であり、町として動き出している。県の方も県庁全体の調整や予算確保などは、まだなされていないのが現状。

問 旧中川小学校に日本語学校を作ろうという計画があったが、土木事務所移転の計画があるというところで断念した経緯がある。計画によっては土木事務所と日本語学校を併存する形で進められた可能性はある。計画がはっきりしないことで、機会を失ったと考えるが。

答（町長）

相手のいることなので、安易に発表できず、勝手

に回答できないことをご理解いただきたい。

問 何かをしようとする際に町が絡むと、町の決定や計画に左右されて、難しさを感じるが。

答（町長）

スピード感が必要なが、公の建物や官公庁を利用する場合、時間がかかることはご理解いただきたい。

問 回覧板の電子化は

答 不慣れな方も多い

問 回覧板に、町内事業者のイベントやセールなどの商業情報を載せることができれば、町の商業の活性化に寄与し、町民にも情報が得られるメリットがあると考えるが、実現できないか。

答（町長）

区長には公務連絡員として回覧をお願いしている。町内事業者の商業情報の回覧が公務に該当するのか判断ができない。

問

消防団の初動態勢強化は

答

研修・訓練などを行っている



菜野良枝 議員



問 2月に発生した火事の際、消防団の初動が遅かったと町民から指摘があった。4月に新入団員を迎え、現在までに何か対策をしたか。

答 (町長)

消防メールの送受信の確認や安全管理などの研修、自衛隊の指導による規律訓練を行っている。

なっているか。

答 (町長)

放送マニュアルの配置や機械に番号のシールを貼るなど、操作手順がわかるようにしてある。

問 南海トラフ地震臨時情報が出た場合の対応は。

答 (町長)

必要に応じて、警戒活動など実施する体制を作り、一週間ローテーションにより体制を構築する。

問 突発的に放送が必要になった場合に、職員誰もが放送できる体制に

問 図書館利用増施策は

答 積極的に取り組みたい

問 土日の昼休みと祝日の開館はできないか。

答 (教育長)

シフトの工夫なども行いながら、検討を進めて行かなければならないと考えている。

問 返却ポストは設置できないか。

答 (教育長)

今すぐに返却ポストを設置することは難しい。返却がネックとなり図書が借りにくいという声も実際にあると聞くので、本の返却方法の周知にも力を入れたい。

問 夏休みや受験シーズンに、図書館以外の学習室として、生涯学習センターの空き部屋を活用することはできないか。

答 (教育長)

あまり活用されていないかった視聴覚スペースの

机を改修し、学習スペースとして8席を用意したが、混み合う状況があれば、会議室の開放や読書の椅子の増設などの有効な対策を検討したい。

問 環境保全モデル地区は

答 指定要綱を廃止した

問 環境保全モデル地区の保全の現状は。

答 (町長)

昭和56年に松崎町環境保全モデル地区を指定したが、「景観まちづくり重点地区」と重なる部分が多いなどの理由で、令和4年5月に指定要綱を廃止した。モデル地区には、文字が消えかかっていて景観を悪くしている看板が残っているため、今後、撤去したいと考えている。



図書館に新設された学習スペース

問 津波避難タワーの建設を

答 令和8年度、南区に



藤井 昭一 議員



平成27年完成の西区津波避難タワー。
その後9年も経過しているが、町内に次の
津波避難タワーができていない。

問 松崎町第6次総合計画には、令和9年度に2

基目の津波避難タワーが
できている計画になって
いるが、計画どおりに進
められるのか。

答 (町長)

南区から要望書が出て
おり、南区に建設するこ
とで話を進めている。今
年度中に用地を選定して、
7年度に設計、8年度に
建設したいと考えている。

問 近くに高台がなく、

地震発生後、津波到達ま
でに避難が困難な地域(津
波避難困難地域)が町内
にはまだあると思うが、
3基目の津波避難タワー
はどこに建設するのか。

答 (町長)

今のところ、地区から
の要望はないが、考えて
いく必要がある。

問 津波避難困難地域を

町で把握しているのであ
れば、町民に伝えてほし
いと思うがどうか。

答 (総務課長)

町民に情報提供してい
きたい。

問 津波避難タワー建設

費用を仮に1億円とす
ると、実際の町の負担はど
のくらいになるか。

答 (総務課長)

国補助や起債を借りる
形になるが、町の負担は
1500万円ほどである。

問 各地で大きな地震が

発生している。命を守る
防災、町民の命が守られ
るようにしてほしい。町
長は防災を掲げて町長に
なられた。ぜひリーダー
シップを発揮して、津波
避難タワー建設をまとめ
てほしいと思うがどうか。

答 (町長)

町の財政は厳しいが、
必要なものは進めてい
きたい。

問 三聖苑に遊具を

整備計画で検討

問 花の三聖苑の芝生広

場に児童遊具を作ってほ
しいという声があるが。

答 (町長)

災害時に拠点になる施
設として考えている。芝
生に遊具を設置するのは
今のところ難しい。

問 三聖苑の活性化につ

なげられないか。

答 (町長)

今は三聖苑の在り方を
町としても検討中である。

問 石部の防災ラジオは

新たな問題が発覚

問 石部地区の防災ラジ

オの電波障害について、
業者が調査した結果はど
うだったのか。

答 (町長)

今回の調査では、牛原
山中継局から旧三浦小中
継局までの間で、何らか
の障害が起きているこ
とが新たにわかった。今
後は、子局の受信アンテ
ナの向きの調整などを試
していく。

問

人口減少への対応は万全か

答

第3期の総合戦略を策定



高橋 良延 議員



問 当町の人口減少における短期・中期・長期の

戦略と具体策はあるか。

答 (町長)

町の総合戦略を策定しており、例えば、関係人口の増大を目指す取り組みとして、石部棚田事業や大学などとの連携、自治体交流などに取り組んでいる。

本年度、令和7年度から11年度までの5年間の計画期間とする第3期総合戦略を策定する。

問 まつぎ荘の民間導入

答 令和7年度中に判断

提案などをしていているが、結果に結びついていない。

問 昨年度約400万円

かけて行った業務改善の効果と具体的取り組みは。

答 (町長)

宿泊施設運営を専門とする株式会社エムアンドエムサービスに委託し、192項目の改善点のアクションプランが提案され、日々実行している。

問 令和6年度までの借入金元金返済猶予を延長

することはあるのか。

答 (町長)

まつぎ荘の経営状況は、価格高騰や設備更新などの費用が大きく、厳しい状況となっている。現在返済猶予となっている既存借入金の返済猶予の延長や新たな借入れなども含め、考えられる対

応策を検討している。

問 老朽化対策や設備更新費用を一般会計から繰り入れる考えは。

答 (町長)

いろいろな方法、可能性を追求して、町を代表する宿泊施設の一つとしてこの施設をどうするか検討していきたい。

問 民間導入する場合の判断時期はいつか。

答 (町長)

運営管理方法は、民間活力の導入を含め、様々な方法があるが、今までと違う形となると、令和

7年度中には判断したい。

問 雲見水道の白濁解消は

答 あらゆる対策を行う

問 令和4年8月の被災後、約2年となる水道水の白濁解消の現在までの対応状況と今後の対策は。

答 (町長)

本年5月に配水管の途中に空気弁を設置し、経過を観察している。今後は、調圧槽の工事を行う予定。原因の特定が難しいが、考えられることを一つ一つやっていく。



民間活力の導入も検討される伊豆まつぎ荘

次の定例会は、9月3日(火)からの予定です。

議会のらびき

4月

- 9日 広報編集委員会
- 18日 広報編集委員会
新斎場整備事業報告会（西伊豆町）
- 25日 議会だより143号発行

5月

- 10日 第3回臨時会
- 17日 議会全員協議会
- 21日 町村議会議長・副議長研修会（東京都）
- 24日 重要問題懇談会
- 27日 賀茂郡町議会議長会総会（東伊豆町）
- 28日 議会運営委員会・広報編集委員会
- 29日 静岡県地方議会議員連絡協議会総会（静岡市）
- 30日 議員会工事現場視察（町内）

6月

- 3日 下田地区消防組合議会全員協議会
- 4日～6日 第2回定例会
- 12日 副町長との懇談会
- 25日 静岡県町村議会議長会総会・議長会議（静岡市）
- 28日 広報編集委員会

表紙の写真「石部の棚田アート」は文化協会写真部より提供。

発行責任者

議長 深澤 守

編集委員長

田中道源

編集委員

藤井昭一
菜野良枝
高橋良延
小林克己
高柳孝博
藤井要

この人に 聞きました④ WILD WEST代表 関隼人さん



町内で活動している皆さんを紹介するコーナーです。今回は、猟師・漁師として活躍されている関隼人さんにお話を伺いました。

○活動の内容について教えてください。

松崎町へは7年前に移住しました。以前は西表島に住んでいたこともあり、そこでの生活スタイルで暮らそうとして選んだのがこの町でした。今は、山と海の猟(漁)を中

心に自然と暮らす毎日。猟で獲ったシカやイノシシは自分の加工所で解体して、新鮮な肉は町内や首都圏、名古屋のお店などへ、魚は地域の直売所へ出荷しています。

○課題や今後の活動、役場への要望は。

町内にもっと新しい産業や商品を生み出そうとする動きがあつたらいいなと思います。

生活は自分が思い描いているものに近づいてき

て、仕事も安定してきたので、いろんなことにチャレンジして、「松崎と言えばジビエ」と言われるような価値を生み出していきたいです。

あと、実はベースリストとしても活動していて、今後は町内のイベントなどで演奏をして盛り上げていきたいいなと思っています。

役場への要望は特にありません。

(聞き手 編集委員長)

海鳴り

松崎町の人口減少問題を解決する手段の一つとして、地域の魅力を生かした観光の振興があります。

地域の魅力を生かした観光とは、その地域固有の自然景観、歴史的・文化的遺産、伝統的な産業や食文化などを訪問者に体験してもらうことです。

例えば、美しい自然環境や季節ごとの風景、伝統行事や祭り、特産品や地元料理の食文化などが観光資源となります。地域の魅力を最大限に引き出すためには、これらの要素を魅力的にプロモーションし、観光客が訪れやすい環境を整備することが重要です。

地域の特性や資源を生かし、持続可能な観光開発を進めることで、地域経済の活性化が図られ、消滅可能性自治体からの脱却が可能になると思います。

(議長)